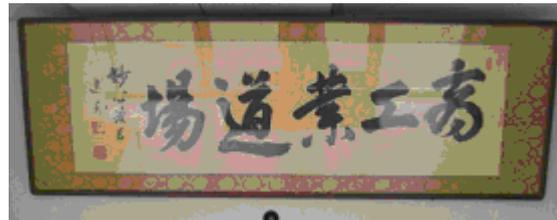


 <p>トピックス</p>	<p>「商工業道場」で社会に貢献できる企業の道を歩む</p> <p>～ 丸満産業(株) ～</p>
---	---

～膜天井の拡販に向けた内部体制強化と人材育成～



【会社の玄関に掲げられた額】

昨年三月十一日の東北地方太平洋沖地震で震災・大津波により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災されました皆様、そのご家族の皆様に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

さて、この震災の一年前に出された文部科学省のガイドブックの中で、同省が平成十九年から二十年度に発生した震度六以上の地震による公立学校における非構造部材の被害状況調査結果が報告されている。被害件数 2,058 件中 242 件が天井・軒天の被害となっている。私学を含めると学校だけでも相当数の被害が出ており、誠に残念なことである。

震災を機に駅構内、工場、体育館、プール等の大規模空間をもつ建築物の天井は、今迄の石膏ボードを主体としたものから軽量で構造体に負荷が少なく、デザイン性にも優れ、高温多湿にも耐え、工期も短い膜天井に今後切り替わって行くものと私どもは確信している。

この様な状況の中で、私ども丸満産業は今後重点的に膜天井の素材加工から施工及び維持管理までの一環した業務に対応出来る様に、今迄の本社工場、岐阜工場に加えて、小牧加工センターを増設し、専門教育を受けた更なる人材の増強及び外部教育による能力開発に力を注いで行く。

弊社の玄関には『商工業道場』と大きな額を掲げている。この丸満の道場とは技術習得、自己鍛錬、社員同士が競い合う場である。そして社是では『我々の働きで最高の信用と最高の製品と最高の職場をつくり、我々の生活の向上と会社及び社会の発展に尽くしましょう』と目的を掲げている。

今、正に震災から多くの人の生命を守る事の出来る製品造りに深く関わり、社会に貢献出来る企業への道をこれからも一步一步確実に歩んで行きたい。